



2024年2月9日

各位

会社名 鳥居薬品株式会社
代表者名 代表取締役社長 松田 剛一
(コード番号 4551 東証プライム)
問合せ先 経営企画部 (TEL 03-3231-6814)

剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり 2023年12月31日を基準日とする剰余金の配当（増配）について、2024年3月27日開催予定の当社第132回定時株主総会に付議することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年2月10日公表)	前期実績 (2022年12月期)
基準日	2023年12月31日	同左	2022年12月31日
1株当たり配当金	70円00銭	50円00銭	76円00銭
配当金総額	1,967百万円	—	2,135百万円
効力発生日	2024年3月28日	—	2023年3月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する適正な利潤の還元を経営の重要課題と認識しております。株主還元については、継続的かつ安定的な配当の実施を基本方針としつつ、事業投資を通じた中長期的な企業価値の向上を実現することが株主の期待に答えることになると認識しています。

2023年度の配当につきましては、「中期経営計画2023-2025」の2023年度の主要施策の進捗として、新薬開発の推進が順調に進捗（JTE-061の製造販売承認申請の実施、T0-208の第Ⅲ相臨床試験の試験速報結果）、新規導入品を2件獲得（NAC-GED-0507、GRAZAX）したこと等により、中長期の業績の見通しとして将来の成長確度が上昇したことを踏まえ、株主還元の充実を図るという考えの下、1株当たり年間120円とすることといたしました。

つきましては、当期末配当を直近の配当予想の1株当たり50円から20円増額し、70円に修正いたします。

株主還元につきましては、継続的かつ安定的な配当の実施を基本方針としつつ、更なる充実を図る考えであり、引き続き、開発パイプライン充実の度合や財務状況等を定期的に評価しながら中長期的なDOE（株主資本配当率）の向上に努め、将来的に同業他社と遜色のないDOE水準（現時点では3.5%程度）を目指してまいります。（なお、具体的な達成時期につきましては、集中的な事業投資の進捗及び中長期事業ビジョン「VISION2030の達成」が一定程度見通すことが可能となる時期にお示しする予定です。）

また、2024年度の配当につきましては、上記方針・考えの下、1株当たり年間120円の配当を実施する予定です。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績 (2023年12月期)	50円00銭	70円00銭	120円00銭
前期実績 (2022年12月期)	24円00銭	76円00銭	100円00銭

以上